

## 地域医療支援病院名称承認に係る審査表

## 2 NTT東日本関東病院

病院の概要	
所在地	品川区五反田五丁目9番22号
開設年月日	昭和26年12月10日
診療科目	内科、外科、小児科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科、皮膚科、泌尿器科、整形外科、放射線科、麻酔科、心臓血管外科、リハビリテーション科、呼吸器科、精神科、脳神経外科、循環器科、病理診断科、救急科
重点医療	救急医療、がん医療、国際医療
指定等	東京都指定二次救急医療機関、東京都脳卒中急性期医療機関、地域がん診療連携拠点病院（高度型）、東京都CCUネットワーク参画施設、難病医療協力病院
病床数	594床（一般病床544床、精神病床50床）

審査項目	申請病院の実績
① 紹介患者に対して医療を提供することとし、次のいずれかに該当すること。 ア 紹介率 80%以上 イ 紹介率 65%以上、かつ逆紹介率 40%以上 ウ 紹介率 50%以上、かつ逆紹介率 70%以上	○ 平成30年度の紹介率 65.9% (A/B) ○ 平成30年度の逆紹介率 52.7% (C/B) ⇒ イに該当  紹介患者数 16,999人(A) 初診患者数 25,772人(B) 逆紹介患者数 13,586人(C)
② 病院の建物、設備、器械等を地域の医療従事者の診療、研究等に共同利用できる体制を整えていること。	○ 共同利用の範囲 ⇒ 病床、検査機器等 ○ 共同利用件数 ⇒ 共同診療件数 0件 高額医療機器利用 737件 (平成30年度) ○ 共同利用に関する規程 ⇒ 「NTT東日本関東病院共同利用規定」
③ 常時、重症の救急患者に対し医療を提供できる体制を確保することとし、次のいずれかに該当すること。 ア 救急自動車搬送患者数が1,000人以上 イ 救急自動車搬送患者数が救急医療圏（二次医療圏）人口の0.2%以上	○ 医療従事者の体制（夜間・休日） 医師4名、看護師5名、薬剤師1名、放射線技師1名、臨床検査技師1名 ○ 診療施設 ICU、CCU、放射線撮影室、検査室 ○ 平成30年度 救急自動車により搬送された患者の数 3,860人

審 査 項 目		申 請 病 院 の 実 績
④	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することとし、年間12回以上の研修を主催していること。	平成30年度の研修会実績 ○ 講演会、勉強会、情報交換会等 21回  ○ 地域医療機関からの参加者 276名
⑤	200床以上の病床を有すること。	病床数 594床
⑥	集中治療室、化学・細菌・病理検査施設、病理解剖室、研究室、講義室、図書室、医薬品情報管理室、緊急用又は患者輸送用自動車有すること。	集中治療室(2室、18床)、化学検査室1室、細菌検査室1室、病理検査室1室、病理解剖室1室、研究室1室、講義室1室、図書室1室、医薬品情報管理室1室、患者輸送用自動車1台を有している。
⑦	紹介しようとする医師・歯科医師に診療及び病院の管理運営に関する諸記録を閲覧させる体制を整えていること。	診療情報管理室に申請し、診療情報閲覧室において、閲覧できる体制をとっている。
⑧	学識経験者からなる運営委員会を設置し、地域における医療の確保のために必要な支援に係る事項を審議すること。	NTT東日本関東病院地域医療支援病院推進委員会を設置している。 (委員構成) 地元地区医師会代表 4名 地元薬剤師会代表 1名 学識経験者 1名 内部委員 4名 計 10名
⑨	患者からの相談に適切に応じられる体制を確保すること。	総合相談室及びがん相談支援センターを設置し、ソーシャルワーカーを9名、看護師及びがん看護専門看護師を12名配置して相談業務を行っている。

## 地域医療支援病院の承認にあたっての考え方

当院は、旧電電公社の職域病院として1952年に開院しました。電電公社の民営化に伴い、1986年には一般開放し、「私たちはNTT東日本の社会的貢献の象徴として、医療の提供を通して病院を利用される全ての人々、そして病院で働く全ての人々の幸せに尽くします」というミッションを掲げ、日々の医療活動を行っております。

少子高齢化等を背景とする医療・介護制度改革の中で、各医療機関は機能の分化・強化と連携の推進により地域完結型の医療への転換が求められております。このような中で当院は、東京都区南部医療圏および近接地域において急性期機能を担い高度で専門的な医療を提供しており、地域の医療機関の皆様と連携を密にしながら、地域医療の向上に取り組んでおります。

品川区医師会様との共催である品川クリニカルセミナーは、当院の職員と地域の医療機関の先生方とが、ともに研鑽、情報共有、交流する場として1986年の一般開放直後に始まりました。2017年からは荏原医師会様にもご参加いただき、毎回多くの地域の先生方にご参集いただいております。また2018年度には、更なる連携の推進、顔の見える関係性の構築を企図し、医療機関だけでなく、訪問看護ステーションや介護施設、消防隊など多職種の皆様方も交えての「第1回医療連携懇談会」を開催し、多くの方にご参加いただきました。

また同年には、地域の医療機関情報や地図情報等を可視化し円滑な医療連携を構築するためのシステムを院内に導入し、今まで以上にスムーズな逆紹介や患者への情報提供等につながっています。

「国際化への対応」も重要なテーマと考えます。訪日外国人への医療提供については厚生労働省においても検討会が設置されるなど、国全体での喫緊の課題となっております。当院は、以前より近隣の大使館職員への対応や米軍病院との交流を行っていたこともあり、外国人向け医療コーディネーターや通訳体制の拡充、JCIやJMIPの認証取得など、外国人患者の受入れを推進しております。地域の医療機関では難しい外国人患者の受入れはもちろんのこと、開業医の先生を対象とした勉強会や情報提供を行うなど、東京都区南部医療圏および近接地域において、外国人診療における強いリーダーシップを発揮しています。

さらに今年度は「入退院支援センター」を新たに設置することにより、入院前より地域の医療機関の皆様との密な連携による早期退院に向けた取り組みを行う予定でございます。

今後も地域の医療機関等との連携強化を図るとともに、地域の皆さまに求められる医療サービスが提供できるよう努めてまいります。